

地小出版
方小版

情報誌

アクセス

毎月1回	1日発行
購読料	定価 150円 (本体 143円)
	年間 1,500円 (税込み)
振替	00120-0-19017

発行所 (株)地方・小出版流通センター
編集 アクセス編集委員会

〒162-0836 東京都新宿区南町20
TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

さらなる旅の始まりへ

花乱社・船出して9カ月

文・別府 大悟

昨年10月に創業、ほぼ9カ月が経った。まさに匆忙の間だったが、一方で随分とはるか遠くまで来たような、未だ振り返る状況ではないけれど様々なことが胸に去来する。

ちょうど半年目の4月1日に企画第一冊目、福岡市在住の写真家・川上信也氏の小型版写真集『フクオカ・ロード・ピクチャーズ:道のむこうの旅空へ』を出版した。

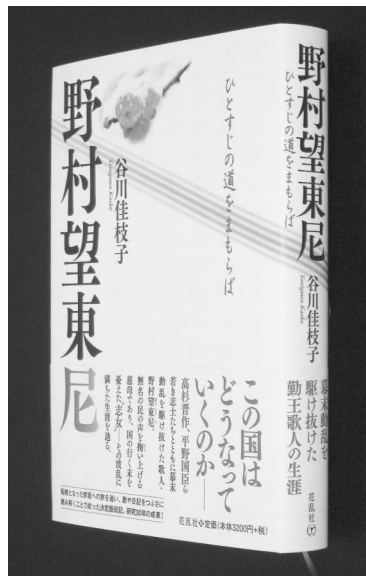
以降4月中に、佐賀大学所属の13人の方が各々の分野からのアプローチで佐賀地域の特性を解き明かした『佐賀学:佐賀の歴史・文化・環境』(佐賀大学・佐賀学創成プロジェクト編)、大分県湯布院町在住の写真家・高見剛氏が20年をかけて撮り溜めたものから精選した大判写真集『天地聖彩:湯布院・九重・阿蘇』、5月に、全国唯一の「公設・民営」の常設劇場「博多座」をたった一人からスタートして興された草場隆氏の『博多座誕生物語:元専務が明かす舞台裏』、そして6月に入り、いずれも30年来の知己と言っている谷川佳枝子氏の『野村望東尼:ひとすじの道をまもらば』、植木好正氏のペースに満ちあふれた画集『人間が好き』を刊行した。

それぞれに出版事情と経緯もあることだし、言うまでもなく当初の数カ月で準備や製作を進め大忙しだったが、3カ月間に6冊を刊行したことに、我ながら今改めて驚く。

*

中でも好評を得ている2冊について少し詳しく書かせていただく。

まず、『フクオカ...』の川上さんとは、



これまで写真集など3冊の本を作ってきた間柄。花乱社第一冊目には、誰か手に取っても喜んでもらえる本を出したいと考えた。地域の活力や自然景観などへの意識が高まっている現在、一見どこにでもありそうな光景一つ一つが人を佇ませる力とドラマを持っていることを示した旅写真集として読んでもらえれば嬉しい。

谷川さんの『野村望東尼』は、高杉晋作、平野国臣ら若き志士たちとともに幕末動乱を駆け抜けた、福岡生まれの勤王歌人の生涯を描いたもの。これは紛れもない労作であり、原稿をもらった後、私は久し振りにずっとワクワクしながら編集作業を進めた。川添昭二九州大学名誉教授よりいただいたご祝辞から一部引用させていただく。「本書は歴史学と文学の融合化による高く広い世界の構築を見事に示しており、このような形で地域文化の地道な掘り起こし

こそが、福岡ないし日本の文化力を高める根源的な営みではないか」

*

草書房に10年在籍した後、二人で海鳥社を創業、25年後に一人で“再独立”したのだが、特別な志めいたものがあったわけではない。通算35年間、おそらく400冊程の出版に何らか関わってきたが、改めて一人からスタートして、どれほどのことがやれるかを自分で見届けたい、という想いがまず第一にあった。「もう残された時間はそれほど多くない」などという(中高年を襲う)“強迫”に急ぎ立てられたたくはないが、総体として「人生は短い 何をすべきか」というカズオ・イシグロのシンプルなおメッセージには、つい心動かされてしまう。

今更、一人になって何かを始めるといことは、他人からの励ましや支えを率直に受け入れ、場合によってはそれを自ら求めていくという立場に身を置くことだ。そもそも「他人の禪で相撲をとる」この世界、関わってくれる人たちの知恵と力を借りながら、その協同性を存分に発揮し一冊の本に具現できるかどうかの私の課題だと考えてきた。

*

販売については、きっと今更ながらの話だろうけれど、再認識させられたことが二つある。

一つは、やはり新聞記事などの効果は大きいということだ。読者からすぐに問い合わせ電話などが掛かってくる。まだまだ新聞・雑誌で情報を得ている人たちが多くいるようだ。

もう一つは、「書店に無かった」という声も多く、出版物が遍く店頭に出ているはずという意識の人が未だ少なからずいるということだ。勿論、amazonなども広く活用されているわけだが、仕入れや棚構成に工夫を凝らしたり、顧客や地域との関係づくりに意欲的な

店の方々とお会いするにつけ、この時代だからこそなお一層「書店とともに食べていく」覚悟が必要なのだ、と考えさせられてきた。

それにつけても、何よりもまず花乱社の名を知ってもらわなければならないと思う。

ちなみに、社名は福岡市早良区にある花乱ノ滝からとった。発音する際、何故かしら我がいづまいを正さなければ、という緊張感が走る。そこが気に入っている。

*

このところにわかに、「世界記憶遺

産」として山本作兵衛翁及び筑豊の炭鉱のことが取り沙汰されている。当初、私としてはすぐさま、かつての葦書房及び久本三多氏を思い浮かべたのだが、さらに、当時の先輩たちが「出版社はラーメン屋と同じで、美味しいラーメンが食べたければここ（福岡）まで来てくれ、と言えるような仕事をすればいいのだ」と豪語していたことまでも思い出す。今や、世界から作兵衛画を「買い」に来る時代となった。そして、ご存じの通り博多ラーメンは、全国版どころか世界各地へ雄飛しているし、十指を超えるだろう福岡の版元もそれぞれ活躍している。

さて、花乱社もその激戦区の中で生き残っていききたいものだ。幸い6月か

ら、10年間一緒に仕事をしてきた者がスタッフに加わってくれた。心強い限りであり、一緒に食べていきたい相手を増やしていくのが人生だ。

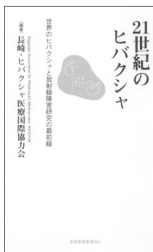
8月刊行は、鹿児島県出水市在住の詩人・作家岡田哲也氏のエッセイ集『憂しと見し世ぞ』。あの大学紛争期、村上一郎と出会った若き日を描いた中篇が柱となっている。もはや出版に限らず、単純な「地方論」が成立する時代ではなくなったが、いかにも暑い土地に住む自称「田舎暮らしの過客」たる著者の、時代と風土と家族に寄せる熱くかつ屈折した想いは、私のものでもある。人と言葉と“美しいもの”を探し求める旅に終わりはない。

(べっぶ だいご/花乱社代表)

新刊ダイジェスト

※価格は総額(税込)表示です。

『21世紀のヒバクシャ -世界のヒバクシャと放射線障害研究の最前線』 ●長崎・ヒバクシャ医療国際協力会編著



長崎・ヒバクシャ医療国際協力会は、チェルノブイリやカザフスタンなどの被災者救済を目的に、長崎県内の放射線医療関係機関により1992年に組織された。本書は原爆被爆者医療で培われた最先端医療提供活動の意義を問うものである。はじめに、広島、長崎への原爆投下から66年を経過し高齢化する被爆者、特に韓国や被爆2世の現況を追い、長期的な疫学調査などの必要性が

説かれる。続いて、放射線障害、身心への影響、核関連施設での事故と健康障害、被爆遺伝など最前線の被爆医療と放射線障害研究の動向を平易に解説する。日本が国際社会で被爆医療の規範となり、世界平和に貢献すべき指針を示す。

◆1200円・新書判・254頁・長崎新聞社・長崎・2011/3刊・ISBN978-4-904561-23-2

『本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること』 ●文：矢部宏治 写真：須田慎太郎



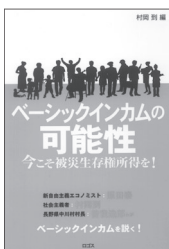
なぜ日本の首相は1年しか持たず、政治家は公約を守れず、官僚は公金を不正使しても逮捕されないのか。なぜペリーはたった4隻で日本を降伏させ、米軍は戦後66年経っても日本にいて、大学を封鎖して学長や市長を立入禁止にすることができるのか。沖縄の人はみんな知っている。それは読んでのお楽しみ。

沖縄軍港、普天間基地、ホワイト・ビーチ、八

重岳通信基地、伊江島演習場など28箇所の米軍用施設を、正当な場所からの撮り下ろし写真と歴史的背景説明で解剖する。夫々の施設見学と周辺の観光スポットを、地図入りでガイドするところが本書のポイント。沖縄をこんなにも知らなかったかと思い知らされる。

◆1365円・B6判・351頁・書籍情報社・東京・2011/5刊・ISBN978-4-915999-17-8

『ベーシックインカムの可能性 -今こそ被災生存権所得を！』 ●村岡到編



非正規労働者の割合が全就業者の三分の一に達し、格差と貧困が急激に拡大。自殺者は年間3万人を越え、生存権そのものが脅かされている。ベーシックインカムとは、そうした認識の下で、憲法25条の生存権保障を実現するために、生存権所得を制度化しようとする思想である。本書は著者らが昨年末に立ち上げた生存権フォーラムメンバー、賛同する自治体首長、憲法25条を巡る朝

日訴訟関係者らの主張と、それへの批評を収める。著者は具体的に月7万円を提起し、生存権所得は無縁社会を脱出する経済的基礎を創出するものだ」と述べる。大震災を受けて被災生存権所得も緊急提案する。議論の深化を期待したい。

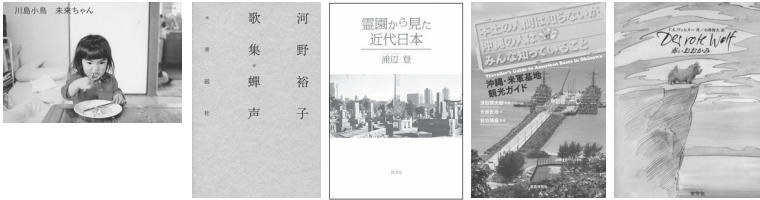
◆1470円・B6判・138頁・ロゴス・東京・2011/4刊・ISBN978-4-904350-17-1

売行良好書

期間：2011年6月16日～7月15日

【出荷センター扱い】※税込み価格

- (1)『未来ちゃん』2100円・ナナロク社 (2)『蝉声』2800円・青磁社 (3)『霊園から見た近代日本』1995円・弦書房 (4)『本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること』1365円・書籍情報社 (5)『赤いおおかみ』2415円・古今社 (6)『体質と食物』368円・クリエ出版部 (7)『写真でわかる 磯の生き物図鑑』2940円・トンボ出版 (8)『漬けもの読本』300円・ベターホーム出版局 (9)『昭和二十年八さいの日記』1365円・石風社 (10)『河野裕子』1890円・青磁社 (11)『死の同心円』1680円・長崎文献社 (12)『遠野むかしばなし』1200円・熊谷印刷出版部 (13)『東京都ガラクタ区お宝村』1680円・エコール・セザム



【三省堂書店神保町本店4F—センター扱い図書】※税込み価格

- (1)『東京かわら版 7月号』420円・東京かわら版 (2)『本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること』1365円・書籍情報社 (3)『未来ちゃん』2100円・ナナロク社 (4)『酒とつまみ 14号』400円・酒とつまみ社 (5)『改訂版 武蔵松山城主上田氏』1890円・まつやま書房 (6)『房総沖巨大地震』1050円・崙書房 (7)『昭和プロレスマガジン 24』1000円・昭和プロレス研究室 (8)『霊園から見た近代日本』1995円・弦書房 (9)『深川木場物語』2520円・たけしま書房 (10)『ファウラ 32号』1000円・ナチュラルー

【ジュンク堂書店新宿店—センター扱い図書】※センター出荷データより/税込み価格

- (1)『未来ちゃん』2100円・ナナロク社 (2)『本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること』1365円・書籍情報社 (3)『nobody ISSUE 35』1260円・nobody編集部 (4)『オルタ 429』840円・アジア太平洋資料センター (5)『山口兎：Singa planet』1050円・赤々舎 (6)『書中日記』1680円・本の雑誌社 (7)『32ページの量子力学入門』315円・暗黒通信団 (8)『素敵なフランス語のフレーズ365』1575円・カラーフィールド (9)『霊園から見た近代日本』1995円・弦書房 (10)『風力発電の不都合な真実』2100円・アットワークス

以下ホームページでも各種情報提供を行っております。ご利用ください。
本と出版流通のページ：<http://neil.chips.jp/>

トピックス — ★★★


▼ 24回地方出版文化功労賞

昨年10月に鳥取県立図書館で開かれた「ブックインとっとり2010」に出品展示された全国の地方出版物の中から、地方出版文化功労賞が選出され、先日発表されました。結果は以下の通りです。第24回地方出版文化功労賞『日本の国境・いかにこの「呪縛」を解くか』（岩下明裕編著／北海道大学出版会刊／1680円）。選考理由「タイムリーな本であるが、それを狙った類のものとはまったく違う。日本の中で国境を意識せざるを得ない3箇所（北方、対馬・竹島、八重山・尖閣）とそうでない特殊な1箇所（小笠原）を軸に歴史、位置づけ、意識、振興、政策などさまざまな角度から国境に関する考察と情報提供をしている」。また今回、奨励賞に『刑務所の中の中学校』（角谷敏夫著／しなの書房／1470円）が選ばれています。選考理由「日本にただひとつの受刑者を対象とした刑務所の中の公立中学校について、長年法務教官として携わってきた著者により執筆された本である。…刑務所内中学校という制度、歴史、それを支える松本市・旭町中学校、分校の一年と全国の刑務所から希望して入学した生徒のエピソードなどが抑制された筆致で簡潔につづられる。そうした一つ一つの文章に驚きや感動を覚える。」なお表彰式は10月2日倉吉市立図書館にて16:30より。

郵便販売のご注文方法

- ◎お名前、お届け先（郵便番号、住所）、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までFAXでご連絡ください。
 - ◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせていただきます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。（メール便の到着は、発送してから3～4日かかります。）お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合わせ下さいませ。
 - ◎なお書籍お買上総計（税抜き価格）が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせていただきます。
- ★地方・小出版流通センター
FAX：03-3235-6182

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。



三省堂書店

BOOKS SANSEIDO

神保町本店 4階
地方出版・小出版物フロア

営業時間 10:00 AM～8:00 PM
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
TEL. 03-3233-3312(代)
URL. <http://www.books-sanseido.co.jp>

**営業の
ごあんない**

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。

